

園庭開放日とさくらんぼのクッキー作りが盛り上がっています。

昨日は爽やかな陽射しの中、園庭開放日で親子の小さなお客様が来られましたが、園庭をはじめ各コーナーでは、どの子も生き生きと自分の興味や関心のある活動に向かって動き出しています。特に、今まで毎日のように真っ赤になったサクランボの実を採っては食べていましたが、いよいよ残り少なくなっていました。

クッキングコーナーでは、たくさんある時にジャム作りをしてビンにつめたりしてきましたが、昨日サクランボシリーズの最後に、クラッカーに生クリームと赤いサクランボをのせたサクランボクッキーを作り、楽しく味わいました。作った子、出来たのをお友だちや小さな子に運んであげる子、どの子もオープンカフェコーナーでのイスに座って麦茶と一緒ににこにこしながら味わいました。

初夏の草花でのままごと遊びやバスハイクに向けての園内でのスタンプラリー、お母さんの顔の絵を描く等今の季節ならではの活動が続々続いていきます。穏やかな心持ちの子が育ってきています。

視察のお客様をお迎えしました！（明日は目白大学からのお客様です・・・）

①インドよりのお客様

5月14日(火)インドから3人の学校の先生が来園しました。園長の友人でインドのムンバイでスラムの学校で子ども達の支援活動をしている田島先生と共に指導をしている3人の先生方です。日本の幼児教育のシステムの話や異年齢で大きな子が小さな子のお世話をしている場面やクッキングコーナーでの自分達で作ったり、他の子にふるまったり片付ける姿や緑豊かで、爽やかな雰囲気の中で育てている子ども達に感動していました。日本の保育の姿をたくさん学んでいただければと願っています。



②5月15日(水)葛飾区より私幼稚園の先生が3人見学に来られました。

来年4月より「こども園」になるにあたって、具体的な取り組みの方法についての視察でした。子どもが自分の気持ちを生かした取り組みをしっかりと取り組んでいる姿、赤ちゃんから年長児までの異年齢の生活で、大きな子のお世話をの姿、手作りのできるクッキングコーナーでの姿、更にはどの先生方も自分なりの役割をしっかりと実践している姿等々強いカルチャーショックを受けていらしたようでした。全てが子ども主体で進んでいることに、なぜ？どうしてできるの・・・？でした。

本日 16日 (木) <<はじめて絵本を借りて帰りました!>>

園について、朝のスタンプを押して着替えをして、自分の絵本袋を持って図書コーナーに。自分が読みたい絵本を探します。きょろきょろしながら他の子の動きを見ながら借りる子もいました。ソロっと手にとって表紙や中を見てから選ぶ子達です。昼の部屋には図書ボランティアのお母さん方がニコニコしながら待っていました。「おなまえは?」「～コースの〇〇です。よろしくおねがいします!」と自分の名前やコースを上手に言って手続きが終わります。どの子もゆっくり慌てずに借りられました。

読書カードをケースに入れて絵本と一緒に大事に袋に入れます。今晚ご家庭では、どの子もお家の方から読んでいただくのを楽しみに帰ると思います。お布団に入って、少しの時間ですが、絵本を通して温かな親子の交わりの時が生まれるのではと思っています。ステキな心の触れ合いの時間を大切にしていってください。

